第三回「CDによる聖書講義集会」のご案内

早いもので「CDによる聖書講義集会」も今回で第三期目を開講することになりました。ただ昨年度開講する際申し上げた事ですが、御出講頂く先生方の聖書講義は、それぞれの先生方がご自分の主宰される集会で連続講義されものので、「CDによる聖書講義集会」では、そのうち二十四講しか一年間で消化することができず、残りは翌年度に引き継ぐ旨を申し上げたことでした。したがって、今期は昨年度に引き継ぐコースとして、

1 **酒枝義旗「出エジプト記」講義二十五講～四十八講**（十五章一節～三十四章二十四節）

先生（一八九八～一九八一年）は学生時代、藤井武先生から信仰を学ばれ、そのあと早稲田大学教授として経済学を講じられました。その傍ら「キリスト教待晨集会」を主宰され、聖書雑誌「待晨」を発行されていました。

2 **白井きく「マルコ福音書」講義二十五講～四十八講**（七章二十四節～十二章二十七節）

先生（一九〇五～二〇〇二年）は塚本虎二先生に信仰を学ばれ、女学校の教師を辞めてからは「聖書知識」社の仕事を手伝いながら独学で聖書を学び、塚本先生の集会が解散されてからは、自ら「聖書集会」を主宰され、その生涯を伝道のために捧げられました。

3 **関根正雄「申命記」講義八講～十八講「申命記法前文」**（六章四節～十一章）

先生（一九一二～二〇〇〇年）は晩年の内村先生の集会に出席され、そこで「コンボルシヨンの実験」と題する講義を聴いて衝撃を受け入信、先生亡き後は塚本先生のもとで信仰を学ばれ、一九四九年に独立され「千代田無教会集会」を主宰され、聖書雑誌「預言と福音」を発行されました。先生の専門は旧約学で、学者として日本の旧約学の発展に大きく寄与されました。

4 **高橋三郎「マタイ福音書」講義二十五講～四十八講**（十三章一節～二十八章二十節）

先生（一九二〇～二〇一〇年）は高等学校時代に三谷隆正先生の集会、戦後矢内原先生の集会に出席されて信仰を学び、ドイツ留学を経て一九六一年、四十一歳の時独立伝道者の道へと導かれ「高橋聖書集会」を主宰され、傍ら聖書雑誌「十字架の言」を発行されました。

をお送りすることになります。

しかし今期は以上の先生方のコースに加えて、次のお二人の先生の聖書講義を新しく加えてお送りしたいと思っております。

5 **岩隈直「コリント前書」講義二十四講**（一章一節～十章二十二節）

先生（一九〇九～一九九七年）は一九三七（昭和十二）年に肺結核を発病、都下清瀬村にあった結核療養所清瀬病院に入院、療養中に無教会の信仰に出会い、それまで属していたセブンスデー・アドベンチスト教会を退会して、病気快復後一九四六一年、三十六歳のとき独立伝道者として召しを受け、集会を主宰されるなどして活躍され、一九八四年、七四歳とき病気のため集会を解散されました。その間にも結核の再発、胆嚢炎の手術、脳底動脈硬化症などの大患を経験されましたが、その都度再起され困難な伝道生活に献身されました。

先生の聖書講義について聴講者の一人は「先生の講義は聖書本文の解釈にかなり時間を割き、聖書学者の見解などを引用しながら説明した上総括的にはご自分の所信を具体例をひきながらはっきりと述べられました。講義の内容は私には難解の箇所もありましたが、全体を通し

て力強い信仰に打たれて、目に涙のにじむことが幾度もありました。」と回想されています。ただ今回提供する「コリント前書」講義は集会場が鉄道沿線にあって、電車の通過時の騒音が邪魔になるのが残念ですが、ご了承ください。

6　**黒崎幸吉「ヨハネ福音書」講義十四講**（三章～十八章ところどころ）

先生（一八八六～一九七〇年）は東京帝大学在学中に内村鑑三先生の聖書研究会に出席。一九〇九年東大卒業後住友総本社に入社し、大阪の住友製鋼所の副支配人にまでなられましたが、大正十年、妻寿美子の急逝を契機に召命を受け、辞職され独立伝道者となられました。先生は大阪に伝道の拠点をおき、集会を主宰し、また月刊誌『永遠の生命』を発行して全国的に広く伝道活動を展開されました。同誌は時局批判のためにたびたび発禁となりました。先生は伝道の傍ら、大冊『新約聖書語句索引』（希和、和希）、『註解新約聖書』十冊を完成され、他に『旧約聖書略注』（上・中・下）、『新約聖書略注』を内村門下の伝道者、学者を動員して編集発行するなど著書・編著が六十冊といわれています。

残念なことは先生の「ヨハネ福音書」講義の全体がテープに収録されて遺されて居らず今回は十四講しか提供できないことであります。ご了承下さい。

すでに「CDによる聖書講義集会」を聴講された方はお分かりと思いますが、今回お送りする講義の録音はそれぞれの集会員が行ったもので、専門の設備と技術者によって収録されたものではありません。そのため録音に聞き取りにくいところがあったりします。なお録音に失敗したり、保管が不十分でテープを紛失した部分は欠講となりますが、併せてご了承ください。なお、CDは隔月四講義分づつを一年かけて順次お送りすることになります。

以上のことをご了解の上、受講を希望され場合には、（複数コースを選んで頂くこともちろんできます）同封のハガキにてご希望の聖書講義コースに丸印して**九月二十日**までに申し込んでください。

なお聴講料は一講義のほとんどがCD一枚の場合と、二枚の場合に分れますので、その比率を勘案して、

一講義CD一枚のことが多い場合、

（酒枝先生）は二十四講義で六千円

（黒崎先生）は十四講義で四千円で

一講義CD二枚のことが多い場合、

（白井先生、高橋先生）は二十四講義各一万二千円

（関根先生）は十一講義で六千円

とさせて頂きます。

なお昨年度の講義の聴講を希望される場合は白井きく先生（マルコ一・一六～七・三七）、高橋三郎先生（マタイ五・一～一二・二二）は各二十四講義分一万二千円、酒枝義旗先生（出エジプト一・一～一〇・一〇）は二十四講義分六千円、関根正雄先生は七講義分（申命記四・一～六・三）三千五百円、それに前田護郎先生の「ローマ書」講義二十四講（一・一六～九・三三）は六千円でお送りすることもできますので、希望される場合は、その旨、申し込み用紙の備考欄に記入して申し込んでください。

二〇一五年七月

〒一八九・〇〇二一　東京都東村山市諏訪町一の二三の一三
今井館伝道聖書集会事務局